

# 花農同窓会報

第五号 令和六年二月二十六日発行



岩手県立花巻農業高等学校

同窓会長 高橋 専太郎

## ご挨拶

会員の皆様方には、日頃より花農同窓会の活動に御理解と御協力をいただき、衷心より厚く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るい、社会全体が大きく混乱し、苦しめられている状況にありましたが、令和五年五月八日より感染症法の2類から5類への引き下げに伴い、同窓会における事業もコロナ以前の活動へと戻り、通常の形で令和五年度花農同窓会総会を開催いたしました。例年は、総会のものちに講演会を行っていましたが、今年度は同窓会会則・規約の大幅な改正があったため総会のみといたしました。総会には、ご来賓として上田花巻市長様、花巻農業協同組合高橋組合長様のご臨席をいただきました。また、議長として佐藤峰樹君に議事を進めていただき、事務局から提案された議案のすべてに対して

ご承認をいただくことができました。

特にその中から今年度大きく変更のあった点について報告をさせていただきます。一点目は、花農同窓会会則・規約についてです。

昨年度、同窓会会則規約等検討委員会（委員長 小田島邦広）を発足し、会則・内規についての検討を行ってまいりました。その詳細については、総会報告に記してありますのでそちらをご覧ください。特にも、年会費の徴収については、同窓生の皆様のご協力をいただく必要があります。同窓会の運営に当たり、これまででは在校生からの会費により運営してまいりましたが、皆さんもご存知のように生徒数が毎年のように減少しています。そこで、会員の皆様から会費をいただき、生徒の更なる活躍を援助する運営資金や、間近に迫る創立一二〇周年記念事業に向けた活動、羅須地人協会や賢治先生の銅像維持・管理に必要な資金へ充当するものです。ぜひともご協力を賜りたいと存じます。

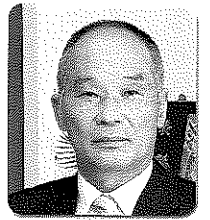
二点目は、支部の見直しについてです。従来33支部あったものを統合し、16支部へと再編いたしました。これによって、支部の更なる活動の活発化が見込まれるものと考えております。

さて、皆さんもご存知かと思いますが、部活動や農業クラブ活動をはじめとする後輩諸君による様々な活動がテレビや新聞等で数多

く紹介され、その素晴らしい活躍が同窓生のみならず県内の多くの方々知っていただく機会となり、先輩として本当に誇らしく思える出来事でありました。

さらに、羅須地人協会についてです。今年度三年ぶりに一般公開することとなり、全国各地から多くの賢治先生のファンが訪れております。見学を再開するにあたり、専用駐車場と敷地の間に門扉を設置致しました。これは、見学者の利便性を良くすると共に、見学場所と生徒の教育活動の場を分けることに役立つと考えております。会報中に写真を載せてありますのでご覧ください。

最後になりますが、二〇二四年は「甲辰」としてイメージされるような「変革」や「激変」という大きな時代の動き・変化を予感させる年の始まりとなっております。そのような中でも、地域のコミュニティを守り産業を支えているのは、本校卒業生であります。賢治精神をはじめ、脈々と受け継がれる花農の精神を今もなおご教授いただいている先生方に大きな拍手を送り、その教えを受け卒業していただく生徒諸君の将来に大きな期待を寄せております。終わりになりますが、同窓生の皆様方には令和九年度に迎える創立一二〇周年に向けて、今後とも母校への御協力と御支援をお願い申し上げます。



## 地域のために

校長 小船光浩

花農同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、多大な御理解と御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今年、花農同窓会にとって節目の年になったのではないかと感じております。昨年来、花農同窓会の活性化のため検討を重ねてきました。会則・規約等検討委員会の案が八月に行われた同窓会総会で承認され、新たなスタートを切りました。主な内容としては、会員有志から年会費をいただくことになったこと、支部の統合により機動的な運営ができるようにしたことです。

この中では特に、支部の統合により支部活動の活性化を図ったことが大きいのではないかと感じております。コロナも終息し、昨年末から各地区で支部総会が開かれ、私もほとんどの会に参加してきました。そこで、会員の皆様と親しく会話する中で、花農に対する愛情と期待、この地域になくてはならない学校だということを強く感じ取りました。花農の発展のためには、同窓会にも頑張ってもらわなければなりません。創立一二〇周年もあと四年後に迫っています。同窓会全体の底上げには、支部活動の下支えが必要です。今回の支部の統合により、これまで以上に支部活動が活発になるよう期待申し上げます。次第です。なお、この他の改正事項については、当会報に記載しておりますので、御確認いただければ

幸いです。

さて、今年度の生徒の活躍について紹介いたします。昨今の学校現場では部活動への加入が任意となり、一定数の未加入生徒がいます。そうした中ではありますが、目的意識を持った生徒は地道に努力を重ねています。今年、陸上・弓道・ボクシング部が東北大会へ、写真部は全国高総文祭に出場し、見事全国入賞しています。農業クラブ活動では、学校農業クラブ全国大会において、食農科学科のソーセージ班がプロジェクト発表Ⅱ類で三年連続の優秀賞。平板測量競技でも環境科学科の生徒が県代表として全国大会に出場しました。また、福井で行われた全国産業教育フェアのフラワーアレンジメントコンテストには、県代表として生物科学科の生徒が出場しています。このように各学科の特長を活かして生徒が力を付けている好循環が続いています。なお、令和六年度には、岩手県で学校農業クラブ全国大会が開催されます。本校は、平板測量競技と農業鑑定競技を担当しますので、大会開催にあたり御協力をいただくことがあると思いますので、その際はよろしくお願いいたします。

次に、進路決定の状況ですが、今年も順調に進んでいます。進学、就職、公務員と各方面に進むことにはなりますが、就職者の多くは地元に残りますので、いずれは、地域のために頑張ってくれるものと期待しております。その他、学校行事等については、コロナの5類明け以降、ほぼ通常通り実施してきました。花農祭も四年ぶりに一般公開としたところ、天候にも恵まれたいへん盛況でした。現在の在校生は、一般に公開した花農祭という

ものを知りませんので、多くの来場者に驚いている様子でした。ただ、どの生徒も一生懸命自分の仕事をこなし、満足している様子が見られました。今年の花農祭は、生徒にとつて「地域に愛されている花農」を改めて感じることが出来た良い機会であったと感じております。

賢治先生の家「羅須地人協会」も五月以降、一般公開を再開しました。映画「銀河鉄道の父」の影響もあり、多くの方々が見学に訪れています。一般公開にあたり、同窓会からは、見学アクセスをよくするため、立派な門を設置していただきました。来校した方々からは、大変好評だという声をいただいております。ありがとうございます。

いずれ、今後も花農同窓会の皆様の期待に応えられるよう、花農らしい教育活動に誠心誠意取り組んでいきたいと考えております。これまでの同窓会の皆様の御支援に感謝申し上げますとともに、花農同窓会の益々の御発展を期待し挨拶いたします。

## 2024年度 花農同窓会総会 (ご案内)

期日 2024年8月24日(土)

時間・場所・会費は未定

# 令和五年度 総会について

令和五年度総会は、去る八月二十六日（土）市内のグランシエール花巻で開催されました。今年度から、制限を設けずに通常通り総会を行いました。また同窓会の会則・規約の大幅な変更があったため講演会は行わず、総会と懇親会のみといたしました。

なお、報告・議案については左記のとおりで、全ての案件について承認をいただきました。

## 報告

- (1) 報告第一号 令和四年度会務報告について
- (2) 報告第二号 支部長の異動について
- (3) 報告第三号 花農同窓会会則・規約検討委員会報告
- (4) 議案第一号 会則の一部改正（案）について
- (5) 議案第二号 令和四年度会計決算について
- (6) 議案第三号 令和五年度事業計画（案）について
- (7) 議案第四号 令和五年度会計予算（案）について
- (8) 議案第五号 役員の内任について
- (9) 議案第六号 役員選考について

## 令和五年度 同窓会会務報告

令和五年七月一日（令和六年三月三十一日）

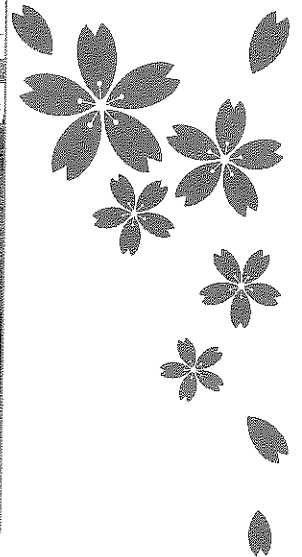
年月日	本部・支部関係
R5・7・7	会計監査（地人会館）
15	湯口支部総会（湯口振興センター）
18	第5回花農同窓会会則・規約等検討委員会（黎明館）
21	同窓生在校生合同剪定事業（羅須庭園整備）
21	第一回三役会（地人会館）
22	関東支部総会（新橋亭）
22	花巻支部総会（みな食堂）
8・9	宮野目支部総会（まつさん）
19	令和五年度第一回理事会（地人会館）
26	令和五年度同窓会総会（ホテルグランシエール花巻）
9・21	賢治先生を偲ぶ会
26	地主明正氏（理事）へ弔電・香典
10・21	石鳥谷支部設立総会（八幡振興センター）
11・1	太田支部総会（ふくや食堂）
4	花農祭一般公開
10	杉山壽直氏（理事）へ弔電・香典
28	矢沢支部総会（銀河プラザ山猫軒）
R6・2・20	第2回三役会（みな食堂）
28	卒業生激励会（本校第二体育館）
3・1	卒業式
23	賢治先生の家・羅須庭園・賢治像清掃
23	役員・支部長合同会議（地人会館）



同窓会設置門扉



見学者用看板

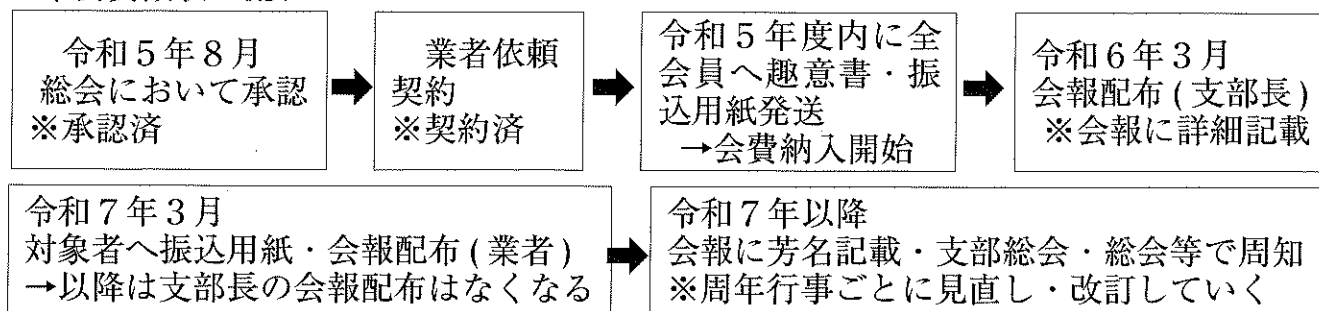


【会則・規約等の変更点】

- 1 役員構成の見直しと組織の再編成
  - (1) 理事について
    - ① 理事を支部推薦制とし、支部と本部が繋がるよう変更（各支部へ理事を分配）
    - ② 理事の人数変更（30名以内を40名以内に変更）
  - (2) 参与について
    - ① 参与の役職を廃止し、参与を理事に繰り入れる
  - (3) 年次評議員について
    - ① 年次評議委員を廃止し、新たに「支部年代代表委員・支部年代委員」を設ける。
  - (4) 名誉会員について
    - ① 名誉会員を廃止する
- 2 会費の徴収について
  - (1) 会員有志から年会費を徴収する ※詳細は下記参照
- 3 支部の統合と組織の見直し
  - (1) 分会制の導入（活動できない支部を救済）
  - (2) 支部再編について
    - ① 支部の総数を15前後とする
- 4 同窓会所有物の管理と取り扱いについて
  - (1) 羅須庭園・賢治先生の家周辺の環境整備について
    - ① 同窓生と年契約をし、管理を依頼する
  - (2) 賢治先生の家のカギの開閉について
    - ① 同窓生と年契約をし、カギの開閉を依頼する
  - (3) 賢治先生の家撮影・見学・調査等の許可と苦情等の対応
    - ① 渉外関係の窓口を副校長とする
    - ② 内規に「花農同窓会所有物管理規程」を新設する

【会費徴収について】

- 1 会費徴収の理由と使途・目的について
  - (1) 経常費（運営費）をほとんど100%在校生に頼っている状況。生徒数は以前の半分以上以下となっており、このままだと枯渇の恐れがある。
  - (2) 同窓会の存在意義の大きな一つに「在校生への教育援助」がある。これまでは、援助する側が会費を納入せず、援助される側が会費を納入するという状況になっている
  - (3) 年会費は、年度の運営費・同窓会所有物の維持管理に充てられる。また、残金は基本金積立金（周年行事等の運営費）に入金される。
- 2 会員有志から年会費を徴収する。  
※あくまでも「有志」による会費納入とする。
- 3 名簿作成会社に名簿管理・発送業務・入金管理等を依頼する。
- 4 年会費徴収の流れ



※事務費支払時期・会費徴収時期（期間）等については、今後業者と調整  
 ※令和7年からの会報配布（郵送）対象者は、①前年に会費納入された方 ②支部長から依頼があった方とする



【支部活動紹介】

コロナウイルスが五月より5類に分類が引き下げになったことにより、各支部での活動が再開されました。その中でも石鳥谷支部は4支部の統合後、初の総会となりました。総会には、高橋同窓会長、小船校長、事務局員の多田、葛尾の四名が参加させていただきました。総会後は直ちに懇親会となり、互いに杯を酌み交わし終始和やかな時間となりました。

その他にも、湯口・関東・花巻・宮野目・太田・矢沢支部なども総会を開催し

支部の見直し

現支部	改定後	現支部	改定後
花巻	花巻	更木	北上
花南	花南	飯豊	
矢沢	矢沢	北上	
湯口	湯口	二子	
湯本	湯本	藤根	
二枚橋	二枚橋	鬼柳	
宮野目	宮野目	横川	
太田	太田	岩崎	
笹間	笹間	和賀	
大迫	大迫	江釣子	
新堀	石鳥谷	北上	盛岡
石鳥谷		盛岡	
八幡		紫波	
八重畑	東和 遠野地域	江刺	廃止 廃止 関東
東和		宮古・下閉伊	
遠野		関東	
宮守		33支部→16支部へ	

ております。多くの支部が通常の形で総会・懇親会を開催できたことは、コロナ以前の生活に徐々に戻ってきたことを実感しております。今後とも会員相互の親睦と母校へのご支援を引き続きよろしくお願ひ致します。



\*感謝状贈呈者一覧\*

(ご勇退者)

前副会長

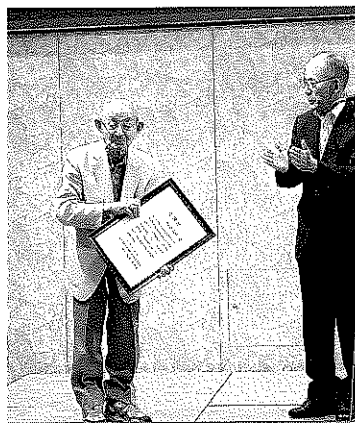
- 前理事
- 前理事
- 前理事
- 前湯本支部長
- 前大迫支部長
- 前八重畑支部長
- 前新堀支部長
- 前二子支部長
- 前和賀西支部長
- 前北上支部長
- 前岩崎支部長
- 前藤根支部長
- 賢治先生の家管理者

新旧新旧

湯本支部

大迫支部

\*支部長異動\*



感謝状贈呈の様子